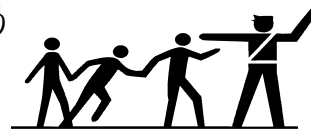


## 大切な人（家族）を守ろう



### 家族で防災について話し合いましょう！

自然災害は、いつ起きてもおかしくありません。常日頃からいざという時のために備えておきましょう。また、いざというときに頼りになるのは、やはり家族です。月に1回程度は、家族そろって防災について話し合いませんか。話題としたいテーマは次の5つです。

- (1) 家族一人ひとりの役割分担
  - 日常の予防対策上の役割と、火事や地震、津波発生時の役割を決めておく。
  - お年寄り、乳幼児、障がいのある方などがある場合は、誰がどのように支援するかなども話し合う。
- (2) 家屋の危険箇所チェック
  - 家の内外をチェックして、危険箇所を確認し合う。
  - 危険箇所については、修理や補強をしておきましょう。
- (3) 家具の安全な配置と転倒防止対策
  - 家の中に安全なスペースを確保するため、家具の配置換えや転倒・落下を防ぐ方法を考える。
  - 早めにいつ、誰と誰がその作業を行うかなどを決める。
- (4) 非常持出品のチェックと入れ替え
  - 家族構成を考えながら必要な物がそろっているかをチェックする。
  - 定期的に保存状態や使用期限を点検し、新しいものと取り替える。
- (5) 災害時の連絡方法や避難場所の確認
  - 家族が離ればなれになった時の連絡方法や、避難場所を確認する。
  - 避難コースの危険箇所についても話し合い、休日を利用してみんなで下見をしておく。

#### ～東北大震災の津波の教訓～

- ※とにかく逃げる …… 命を守ることが最優先です。
- ※自分で判断し避難する …… 日頃から予想し、状況を自ら判断し行動することが大切です。
- ※お互いに助け合う …… 自らの安全が確認されたら協力し助け合う。

本校においての地震・津波の避難先は「御大師山」です。ご承知おきください。

また、年3回の避難訓練を実施しています。今後とも生命の尊重を最優先に日頃から防災に努めていきます。

